

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護福祉士実務者研修(無資格者)				
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <input checked="" type="radio"/> 通信 スクーリング(回数 7回)				
指定講座番号(15桁)	2420081	—	1410012	—	2
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間  平成26年 4月 1日	過去一年の講座実績  2026年3月31日まで	入講者数(累積) (164人)	修了者数 (159人)	
訓練期間	6ヶ月		総訓練時間	462時間	
<b>1. 教育訓練目標</b>					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者研修修了				
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省				
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	スクーリングを全日程出席し評価試験に合格する。通信学習の各科目認定試験得点率を60%以上得る。				
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護職・介護業界において広く活用され、介護の質の向上及び職員の処遇改善にも繋がっている。				
<b>2. 教育訓練の内容</b>					
教科(カリキュラム)	時間		使用教材名		
人間の尊厳と自立	通信 5時間				
社会の理解 I・II	通信 35時間				
介護の基本 I・II	通信 30時間				
コミュニケーション技術	通信 20時間				
生活支援技術 I・II	通信 50時間		介護福祉士		
介護過程 I・II	通信 45時間		実務者研修テキスト		
介護過程III(スクーリング)	スクーリング 45時間				
こころとからだのしきみ I・II	通信 80時間				
発達と老化の理解 I・II	通信 30時間				
認知症の理解 I・II	通信 30時間				
障がいの理解 I・II	通信 30時間				
医療的ケア	通信 50時間				
医療的ケア演習(スクーリング)	スクーリング 12時間				
<b>3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)</b>					
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし				
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	特になし				
③その他					

# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度内の受講修了者数	159	人		
② ①のうち目標資格の受験者数	159	人	受験率(②/①)	100.0 %
③ ②のうち合格者数	159	人	合格率(③/②)	100.0 %
④ 上記②・③の回答者数	159	人		

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	159	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	112	人	②A: 就業者計 148人
	2 非正社員、派遣社員	36	人	
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	
	4 非就業	11	人	②B: 非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	144	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 148人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	2	人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	2	人	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	110	人	④A: 就業者計 146人
	2 非正社員、派遣社員	36	人	
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	
	4 非就業者	13	人	④B: 非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	1	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) 146人
	2 1割以上3割未満増加した	1	人	
	3 1割未満増加した	17	人	
	4 変わらない	126	人	
	5 1割未満減少した	1	人	
	6 1割以上3割未満減少した	0	人	
	7 3割以上減少した	0	人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	91	人	⑥の回答数合計 247人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	10	人	
	3 社内外の評価が高まる	28	人	
	4 早期に転職・再就職できる	12	人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	14	人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	28	人	
	7 趣味・教養に役立つ	31	人	
	8 その他の効果	15	人	
	9 特に効果はない	18	人	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 11人
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	0	人	
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	0	人	
	4 就職していない	11	人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	88	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 159人
	2 おおむね満足	66	人	
	3 どちらとも言えない	4	人	
	4 やや不満	1	人	
	5 大いに不満	0	人	

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 指定カリキュラム全履修と通信課題、演習状況、受講態度等を総合的に評価する。

(通信制講座の場合)

スクーリングの実施場所、時期、期間・回数 実施場所: 全国 時期: 通年 期間: 7日間 回数: 50回

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

各科目の評価は修了評価試験又はレポート課題をもって行い、60点以上の者を合格とする。不合格の者については課題等を提出し、再評価を行う。

# 一般教育訓練明示書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	添削コメント及び問題の解説を加えると共に、必要に応じて電話等による個別指導や面談による助言・指導を行う。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	基本は就労者を対象とした研修であるが、要望があれば隨時、就職相談や助言を行う。また、介護福祉士国家試験受験に関する情報を適宜提供している。
8. その他の事項	
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	(代表者名:代表理事 大橋正行) 一般財団法人 ユマニテク教育支援センター
住所及び連絡先	三重県四日市市鵜の森1-4-28 TEL 059-340-4575
施設名称及び施設長名	ユマニテクキャリアアカデミー (施設長:田崎 亮 )
住所及び連絡先	三重県四日市市鵜の森1-4-28 TEL 059-340-4574
給付制度担当部署・者	介護福祉士実務者研修科 (担当者:服部真歩 )
連絡先	TEL 059-340-4574
一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 128,700 円
①一括払	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。) 22,000 円
②分割払	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。) 106,700 円 (うち、必須教材費 19,580 円 )
③両方可能	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 円 ① 副読本代(税込額) 円 ② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 円 ③ 施設維持費(税込額) 円 ④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 円
	3. 総額 (1+2) (税込額) 128,700 円

[特記事項]

--

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護福祉士実務者研修(初任者研修修了者)				
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <input checked="" type="radio"/> 通信 スクーリング(回数 7回)				
指定講座番号(15桁)	2420081	—	1410022	—	5
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間  平成26年 4月 1日	過去一年の講座実績  2026年3月31日まで	入講者数(累積) (87人)	修了者数 (87人)	
訓練期間	6ヶ月		総訓練時間	332時間	
<b>1. 教育訓練目標</b>					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者研修修了				
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省				
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	スクーリングを全日程出席し評価試験に合格する。通信学習の各科目認定試験得点率を60%以上得る。				
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護職・介護業界において広く活用され、介護の質の向上及び職員の処遇改善にも繋がっている。				
<b>2. 教育訓練の内容</b>					
教科(カリキュラム)	時間	使用教材名			
社会の理解Ⅱ	通信 30時間				
介護の基本Ⅱ	通信 20時間				
コミュニケーション技術	通信 20時間				
介護過程Ⅱ	通信 25時間				
介護過程Ⅲ(スクーリング)	スクーリング 45時間	介護福祉士			
こころとからだのしくみⅡ	通信 60時間	実務者研修テキスト			
発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ	通信 30時間				
認知症の理解Ⅱ	通信 20時間				
障がいの理解Ⅱ	通信 20時間				
医療的ケア	通信 50時間				
医療的ケア演習(スクーリング)	スクーリング 12時間				
<b>3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)</b>					
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし				
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	初任者研修修了				
③その他					

# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度内の受講修了者数	87	人		
② ①のうち目標資格の受験者数	87	人	受験率(②/①)	100.0 %
③ ②のうち合格者数	87	人	合格率(③/②)	100.0 %
④ 上記②・③の回答者数	87	人		

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	87	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	58	人	②A: 就業者計 83人
	2 非正社員、派遣社員	25	人	
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	
	4 非就業	4	人	②B: 非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	81	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 83人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	1	人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	1	人	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	58	人	④A: 就業者計 83人
	2 非正社員、派遣社員	24	人	
	3 その他の就業(自営業等)	1	人	
	4 非就業者	4	人	④B: 非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	1	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) 82人
	2 1割以上3割未満増加した	3	人	
	3 1割未満増加した	7	人	
	4 変わらない	70	人	
	5 1割未満減少した	0	人	
	6 1割以上3割未満減少した	1	人	
	7 3割以上減少した	0	人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	43	人	⑥の回答数合計 119人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	3	人	
	3 社内外の評価が高まる	12	人	
	4 早期に転職・再就職できる	6	人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	1	人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	12	人	
	7 趣味・教養に役立つ	16	人	
	8 その他の効果	8	人	
	9 特に効果はない	18	人	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 4人
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	0	人	
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	0	人	
	4 就職していない	4	人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	35	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 87人
	2 おおむね満足	47	人	
	3 どちらとも言えない	4	人	
	4 やや不満	0	人	
	5 大いに不満	1	人	

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 指定カリキュラム全履修と通信課題、演習状況、受講態度等を総合的に評価する。

### (通信制講座の場合)

スクーリングの実施場所、時期、期間・回数 実施場所: 全国 時期: 通年 期間: 7日間 回数: 50回

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

各科目の評価は修了評価試験又はレポート課題をもって行い、60点以上の者を合格とする。不合格の者については課題等を提出し、再評価を行う。

# 一般教育訓練明示書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	添削コメント及び問題の解説を加えると共に、必要に応じて電話等による個別指導や面談による助言・指導を行う。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	基本は就労者を対象とした研修であるが、要望があれば隨時、就職相談や助言を行う。また、介護福祉士国家試験受験に関する情報を適宜提供している。
8. その他の事項	
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	(代表者名:代表理事 大橋正行) 一般財団法人 ユマニテク教育支援センター
住所及び連絡先	三重県四日市市鵜の森1-4-28 TEL 059-340-4575
施設名称及び施設長名	ユマニテクキャリアアカデミー (施設長:田崎 亮 )
住所及び連絡先	三重県四日市市鵜の森1-4-28 TEL 059-340-4574
給付制度担当部署・者	介護福祉士実務者研修科 (担当者:服部真歩 )
連絡先	TEL 059-340-4574
一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 98,450 円
①一括払	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。) 22,000 円
②分割払	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。) 76,450 円 (うち、必須教材費 19,580 円 )
③両方可能	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 円 ① 副読本代(税込額) 円 ② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 円 ③ 施設維持費(税込額) 円 ④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 円
	3. 総額 (1+2) (税込額) 98,450 円

[特記事項]

--

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護福祉士実務者研修(訪問介護員養成研修課程2級修了者)				
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② <input checked="" type="radio"/> 通信 スクーリング(回数 7回)				
指定講座番号(15桁)	2420081	—	1410042	—	0
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間  平成26年 4月 1日	過去一年の講座実績  2026年3月31日まで	入講者数(累積) (58人)	修了者数 (55人)	
訓練期間	6ヶ月		総訓練時間	332時間	
<b>1. 教育訓練目標</b>					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者研修修了				
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省				
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	スクーリングを全日程出席し評価試験に合格する。通信学習の各科目認定試験得点率を60%以上得る。				
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護職・介護業界において広く活用され、介護の質の向上及び職員の処遇改善にも繋がっている。				
<b>2. 教育訓練の内容</b>					
教科(カリキュラム)	時間		使用教材名		
社会の理解Ⅱ	通信 30時間				
コミュニケーション技術	通信 20時間				
介護過程Ⅱ	通信 25時間				
介護過程Ⅲ(スクーリング)	スクーリング 45時間				
こころとからだのしくみⅡ	通信 60時間		介護福祉士		
発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ	通信 30時間		実務者研修テキスト		
認知症の理解Ⅰ・Ⅱ	通信 20時間				
障がいの理解Ⅰ・Ⅱ	通信 20時間				
医療的ケア	通信 50時間				
医療的ケア演習(スクーリング)	スクーリング 12時間				
<b>3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)</b>					
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし				
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	訪問介護員養成研修2級課程修了				
③その他					

# 一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度内の受講修了者数	55	人		
② ①のうち目標資格の受験者数	55	人	受験率(②/①)	100.0 %
③ ②のうち合格者数	55	人	合格率(③/②)	100.0 %
④ 上記②・③の回答者数	55	人		

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	55	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	33	人	②A: 就業者計 48人
	2 非正社員、派遣社員	15	人	
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	
	4 非就業	7	人	②B: 非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	47	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 48人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	1	人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	32	人	④A: 就業者計 48人
	2 非正社員、派遣社員	16	人	
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	
	4 非就業者	7	人	④B: 非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) 48人
	2 1割以上3割未満増加した	1	人	
	3 1割未満増加した	4	人	
	4 変わらない	41	人	
	5 1割未満減少した	1	人	
	6 1割以上3割未満減少した	1	人	
	7 3割以上減少した	0	人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	31	人	⑥の回答数合計 76人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人	
	3 社内外の評価が高まる	7	人	
	4 早期に転職・再就職できる	3	人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	4	人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	6	人	
	7 趣味・教養に役立つ	11	人	
	8 その他の効果	5	人	
	9 特に効果はない	8	人	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 7人
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	0	人	
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	0	人	
	4 就職していない	7	人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	28	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 55人
	2 おおむね満足	24	人	
	3 どちらとも言えない	3	人	
	4 やや不満	0	人	
	5 大いに不満	0	人	

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 指定カリキュラム全履修と通信課題、演習状況、受講態度等を総合的に評価する。

### (通信制講座の場合)

スクーリングの実施場所、時期、期間・回数 実施場所: 全国 時期: 通年 期間: 7日間 回数: 50回

## 6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

各科目の評価は修了評価試験又はレポート課題をもって行い、60点以上の者を合格とする。不合格の者については課題等を提出し、再評価を行う。

# 一般教育訓練明示書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	添削コメント及び問題の解説を加えると共に、必要に応じて電話等による個別指導や面談による助言・指導を行う。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	基本は就労者を対象とした研修であるが、要望があれば隨時、就職相談や助言を行う。また、介護福祉士国家試験受験に関する情報を適宜提供している。
8. その他の事項	
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	(代表者名:代表理事 大橋正行) 一般財団法人 ユマニテク教育支援センター
住所及び連絡先	三重県四日市市鵜の森1-4-28 TEL 059-340-4575
施設名称及び施設長名	ユマニテクキャリアアカデミー (施設長:田崎 亮 )
住所及び連絡先	三重県四日市市鵜の森1-4-28 TEL 059-340-4574
給付制度担当部署・者	介護福祉士実務者研修科 (担当者:服部真歩 )
連絡先	TEL 059-340-4574
一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 98,450 円
①一括払	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。) 22,000 円
②分割払	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。) 76,450 円 (うち、必須教材費 19,580 円 )
③両方可能	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 円 ① 副読本代(税込額) 円 ② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 円 ③ 施設維持費(税込額) 円 ④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 円
	3. 総額 (1+2) (税込額) 98,450 円

[特記事項]

--